



かとう けい子 かわら版令和新年号通算 46号

次世代に繋ぐ
政策を！！



全地域版

令和4年7月吉日

討議 資料

発行責任者 流山市向小金 3-123-15 加藤 啓子

早いものでカレンダーも半分が過ぎました。新型コロナウイルス感染症もその重症度が低くなり、屋外ではマスクを外せるかどうかまで回復してきました。しかしながら、日本人は人と同じ事をして安心する民族であるせいも、自分だけ外してという勇気のある行動にはなかなか移せないところもあるようです。私も職場で育児休業第1号としてお休みすることになった時も組合にかけあつて、育児復帰後も十時から十六時までの時間短縮制度を取り入れてもらいました。その当時一人だけ時間短縮をすることは周りからの批判もあり、勇気も必要でしたが、今はその甲斐あつて後輩達は当たり前のように保育園の送り迎えに間に合うように時間短縮制度を使うことができるようになりました。政治にかかわるものは、その時には批判されることがあつても、十年先、二十年先をみて、改革しようという勇気も必要です。最近どうも保身に走り、国民や市民のことよりも自分の事ばかりを考える政治家も少なくないと寂しい気持ちになります。そんな中でも齋藤健衆議院議員、臼井正一参議院議員候補は真っ先に国のことを考えている大変日本にとっては貴重な政治家であると感じるからこそよくわかることで皆様にもお伝えしたいと書かせていただきました。安定した変わらない日本をいて欲しいからこそ今の世界がウィルスや侵略で落ち着かない時代には気概のある政治家に託していきたい、そして議員と名のつくものであれば微力であっても何かしら前に進めるための勇気を持って日々精進したいと思うこの頃であります。ベトナムでは女性の地位が高いのは女性がベトナム戦争で銃を持って闘ったからだと言われています。銃を持って闘わずとも愛を持って国の為に働きたい。そう思っています。

令和4年7月吉日

かとう けい子

一般質問ダイジェスト(通算46回目の質問です)

1. 小児がん患者に対する施策について

全国の小児がん患者は毎年2000人罹患している。千葉県では今年度から小児がん患者に小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業を行っている。流山市でもその周知と、指定医療機関が市内にはないので医師会等との連携を要望。また、ゴールドリボン・ネットワークの活動をしている団体の周知や支援もお願いし、小児がん患者に少しでも希望のある未来を求めた。

2. コミュニティFM等ラジオによる市民への広報について

令和元年度北部公民館でのタウンミーティングにおいて、コミュニティFMによる防災ラジオ放送の可能性についてをご意見された市民がおり、その際執行部は検討する旨の答弁があつたがその後どうなったか？全国では338局が開局しており、千葉県でも6市が開局済み。千葉市が令和3年に開局しているのであり、元年にすぐ取りかかっていたら周波数の取得も可能であつたのではないかと提案するも前向きな答弁はなし。

3. 東部浄水場の土地利用について

東部浄水場は運動公園の土地区画整理が終わり、基幹管路が完成する令和11年度に廃止予定となっている。7500㎡の土地が応急給水場のみ残すとすると約5000㎡分が不要となる。市はその跡地の利用については東部地区の市民や自治会などと話して決めていただきたいと要望。東部プールやふるさとの森、いこいの森などのように市民の意見が充分反映されないまま決定とならないように注意を促した。

4. 寄附金の集め方について



現在市では14種類の寄附金を集めているが、それを知らない市民や申出書まで書いて高額を寄付するのではなく、募金箱のように、少額を気軽に寄付できるような体制作りが広く多くの寄付を集めるのに適しているのでは無いか？

拉致被害者への支援の寄附金を毎年12月にやっているように、市のロビーや公共施設に気軽に寄付できる募金箱を月替わりでおいて呼びかけたらどうか。

現金管理は誤りがあつては怖いので極力しないようにしている。との答弁でしたが、コンビニでもちゃんとウクライナ支援等を管理しているのであるから、できないことはないのではないか。それこそできない職員であると言い切ってしまうことに問題があるような気がしますか？

対象となる治療	助成上限額
胚(受精卵)凍結	35万円
未受精卵凍結	20万円
卵巣組織凍結	40万円
精子凍結	2万5000円
精巣内精子採取術による精子凍結	35万円



一般質問動画はこちらから→



<6月定例会トピックス> 総務委員会では15議案中10議案および陳情1件を審議しました。

総務委員会は当初予算に国や県の施策等で追加になった事業予算等を補正する、「補正予算」を毎議会審議しています。今回は専決処分された予算を含め4議案を審議。主な補正は次の通りです。

新型コロナウイルス感染症にかかる、配食・日用品の配達サービス実施にかかる経費の追加 378 万円、住民非課税世帯等に対する1世帯10万円の臨時特別給付金の追加分4億2500万円、4回目ワクチン接種券作成経費5508万円

子育て世帯生活支援特別給付金1億8215万円、東自治会館建設費用の助成金1500万円、四季野自治会自主防災組織育成助成金200万円、物価高騰による、学校給食費のまかない材料費補助6229万円など。

補正後の予算739億9284万7000円となりました。

陳情10号について

国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化することを求める意見書の提出をもとめる陳情書海の日は、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日」と定義されています。

「海の日」は、1941年に制定された「海の記念日」がもとになっています。「海の日」の日程が変更されたのは、2003年からです。2001年に「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律」が制定されたのです。この法律は、「ハッピーマンデー法」と呼ばれています。ですから、今年の海の日は7月18日であります。

海洋国家である、日本は海に働く人や産業に目を向けていただきたく、そのためには日にちを固定化してイベントもしやすくして欲しい、海外から見ても海の日が毎年変わるようでは軸が定まらない国として映るというものでした。今回の陳情は「海事振興連盟の会長 衛藤 征士郎様」から上がっており、自由民主党や国民民主党、立憲民主党、公明党などの国会議員も賛同していることから、日本共産党議員及び社民党議員、NHK党以外は賛成し、採択となりました。



加藤 けい子



真の豊かさを実感できる
社会の実現にむけて..
できることを
コツコツと
足をひっぱらない、政策提案型政治を
続けて 11 年

市民の安心と安全が最優先

かとう けい子プロフィール

■夫・子ども 3 人 共働き歴40年

■西宮市生まれ 野田市育ち流山在住32年

■東葛飾高校卒、立教女学院短期大学卒、放送大学卒、明治大学院公共政策専門職修士 ちば自民党政治学院 8 期生 深谷隆司主宰温故知新塾 4~6 期生、自由民主党女性未来塾候補者育成コース 1 期生、3 期生

■三井住友海上火災保険(株)に 20 年勤務。流山市教育委員会生涯学習専門員、男女共同参画審議会委員、行財政改革審議会委員を経て平成 23 年初当選現在3期目(流山市初の女性自民党公認議員)生涯大学校健康福祉専攻 1 年在学中

■千葉県地方議員連絡協議会女性局事務局長、総務常任委員、都市計画審議会委員■活動団体:生涯学習サロン & 駄菓子屋びこつと主宰、

流山商工会議所女性会理事、NPO 法人流山国際交流協会、パートナーシップながれやま、小さな森プロジェクト in 流山、まゆみの会、トランプサイズの油絵、流山市ゴーヤカーテン普及促進協議会、みりんde繁盛実行委員会、流山市倫理法人会女性委員長、千葉県安全協会交通指導員、流山・切り絵プロジェクト実行委員

■趣味:琴、花繻工芸、卓球、ゴルフ、ガーデニング

■好きな言葉:人事を尽くして天命を待つ

<https://www.katokeiko.net/>

ホームページはこちら



提案続け、実現に導いた一般質問の動画はこちらから→



加藤けい子を応援ください。

このかわら版を室内ポスターとして使ってください。 Keikokato0321@gmail.com

件名に加藤けい子応援としてご連絡ください。